

## 夏の交通安全県民運動実施結果

.....7月11日～20日.....

区分	年別	平成25年	平成24年	増減数
総事故件数		<b>1,848件</b>	1,810件	+38件
人身事故		<b>212件</b>	282件	-70件
死者数		<b>4人</b>	2人	+2人

運動期間中の死者数は3件4人(前年同期間比+1件、+2人)で、高齢者2人と二輪乗車中の2人の方が亡くなりました。なお、運動終了日現在の県下の全死者数は53人で、その半数近くを高齢者が占めています。

(一財)三重県交通安全協会

# 交通安全みえ

2013 / 中秋号 No.183

発行所  
**(一財)三重県交通安全協会**  
三重県交通安全活動推進センター  
(三重県公安委員会指定)  
〒514-0004  
津市栄町1-954 三重県栄町庁舎5F  
TEL 059-228-9636  
URL <http://www.mie-ankyo.com/>

## 交通安全協会は、交通事故をなくすため、幅広い活動を行っています。

交通安全協会の活動は、会員の皆さんからご協力いただいた会費で支えられています。

交通安全協会の活動にご協力をお願いします。

交通安全協会は一件でも交通事故をなくし、一人でも多くの方の命を守るために活動しています。  
お住まいの地域で悲惨な交通事故をなくすために、当協会の活動にぜひご支援・ご協力をお願いします。

★運転者会員  
3年会費...1,500円 5年会費...2,500円  
※ 途中入会の方は、免許の有効期間の残り年数1年当たり500円となります。

交通安全イベント・フェスタ等の開催

交通安全の広報啓発

優良運転者・交通安全功労者(団体)等の表彰

交通安全の広報啓発

交通安全アドバイザーによる交通安全教室

交通安全無料相談の開設

幼児から高齢者まで対象の交通安全指導

子ども自転車三重県大会

### 会員の皆様へ協賛店サービス

県内外数百店舗のご協力により「会員の店」での優待(料金の割引等)がご利用いただけます。  
なお、「会員の店」(協賛店)情報は携帯サイトアドレス及びQRコードからも検索できます。

**【携帯サイトアドレス】**  
<http://www.mie-ankyo-mise.com/mobile/>

三重県交通安全協会では、「協賛店」を募集しています。各地区交通安全協会へお問い合わせください。

## 北から南から～各地区の活動～

交通安全協会は交通事故を防止するために幅広い活動を行っています。

- 街頭での交通安全指導(学童・お年寄りの街頭保護)
- 保育・幼稚園、小・中学校への交通安全資器材の提供
- 交通安全の広報啓発(新聞・テレビ・広報車)
- 交通安全イベントの開催(交通安全フェスタ等)
- 優良運転者・交通安全功労者(団体)等の表彰
- 交通事故無料相談の開設

鳥羽地区交通安全協会の活動は、P2にズームアップ!  
わたしはシンボルマスコット“ストップビー”です。

交通安全ミニフェスタでの広報活動

「交通安全の日」の早朝街頭指導

ゆかた姿による交通安全広報啓発活動

大型店舗での広報キャンペーン

チャイルドシート着用推進モデル幼稚園における腹話術による交通安全指導

スーパー来店客への広報啓発活動

園児とともに交通安全広報活動

学生に対する自転車の安全利用啓発活動

交通安全運動期間中の交通安全パレード

女性部員手作りの紙芝居と人形劇による交通安全教室

交通安全運動期間中の交通安全パレード

交通安全運動期間中の交通安全パレード

交通安全運動期間中の交通安全パレード

交通安全運動期間中の交通安全パレード



# 鳥羽地区交通安全協会

# ZOOM UP!

### 【海女姿でドライバーに事故防止呼びかけ】



鳥羽地区交通安全協会は、夏の交通安全県民運動の期間中、志摩市大町町の国道でドライバーに交通事故防止を呼びかけました。

協会の女性部役員が白い磯着の海女姿でドライバーに「安全運転をお願いします」「気をつけて運転してください」と飲酒運転撲滅のチラシを手渡ししながら声掛けを行い、併せて冷茶を提供しました。最近では、海女姿での広報活動は、地元の方はもちろん、観光客にも喜ばれ、間近で見る海女姿の呼びかけに多くのドライバーには笑顔で応じていただきました。

## 園児と盲導犬の

# 盲導犬募金贈呈式と交通安全教室



三重県交通安全協会は、平成25年7月19日(金)、盲導犬募金贈呈式を津市内の「社会福祉法人 清泉福祉会 清泉愛育園」において行いました。

当協会では、平成17年から中部盲導犬協会の「ラブ募金箱」を県内の店舗等にご協力をいただいて設置(69箇所)し、来店される方々に募金をお願いしております。集まった募金は、盲導犬の育成を通じて目の不自由な方々の交通安全に寄与していただく目的で中部盲導犬協会に毎年贈呈しております。今回は、24万2,162円を贈呈しました。



贈呈式後に実施した交通安全教室では、約40人の園児が参加し、盲導犬(名前:モンテ)と一緒に模擬横断歩道を高く手を挙げて安全に渡る体験をしました。

また、盲導犬協会の職員が「盲導犬がハーネスをつけている時はお仕事中です。触ったりビックリさせたりしないよう、そっと見守ってあげてくださいね。」と説明をする、園児らは大きな声で返事をしていました。

園児のほとんどが盲導犬を目にするのは初めてで、園児らは盲導犬との触れ合いを楽しみながら交通ルールを学びました。

みなさんの温かいご協力、ありがとうございました。



## 第41回 二輪車安全運転三重県大会

### 自分自身の腕だめし!

平成25年6月2日(日)、三重中央自動車学校に総勢45名のベテランと初参加の選手が集まり、互いの安全運転の腕前を競い合いました。各クラスの選手は本番一回限りのアタックチャンスに気力を集中させ、バイクと一体となって競技に臨みました。

- 若年クラス 上野 晶
- 女性クラス 真鍋 智香
- 一般Aクラス 真鍋 彰夫
- 一般Bクラス 力石 晃行 (敬称略)



一本橋走行

### 決戦の鈴鹿サーキットへ

代表選手の皆さんは県大会終了後、更なる技術向上を図るため訓練を重ね、平成25年8月3日、4日に鈴鹿サーキットで開催された「第46回二輪車安全運転全国大会」に臨みました。強豪ぞろいの中、三重県チームは第7位と大健闘しました。

#### 大会の成績結果

- 全国優勝 京都府
- 第2位 神奈川県
- 第3位 東京都



三重県代表チーム!

## 第47回 交通安全子ども自転車三重県大会

### 絶対優勝したい!



学科テスト

平成25年7月6日(土)、県下18地区の代表校の選手はそれぞれの意気込みを胸に、津市芸濃町総合文化センター内アリーナに集合しました。各選手は緊張しながらも学科テストと技能テストに果敢に挑みました。

結果発表時には、応援席から一際大きな歓声が上がりました。選手への健闘に惜しみない拍手が送られました。

猛暑が続く中、放課後と休日を利用して練習を重ねた各代表校の選手の皆さん、そして、懸命に指導・応援して下さった関係者の方々には心から感謝を申し上げます。

三重県大会(団体)の結果は次のとおりです。

- 優勝 松阪市立松尾小学校(松阪)
- 第2位 大台町立三瀬谷小学校(大台)
- 第3位 志摩市立鶴方小学校(志摩)
- 第4位 紀宝町立鶴殿小学校(紀宝)
- 第5位 亀山市立白川小学校(亀山)
- 第6位 四日市市立四郷小学校(四日市)

### いざ、全国大会へ!

平成25年8月7日(水)、三重県大会を制した松阪市立松尾小学校の選手たちは、東京ビッグサイトで開催された「第48回交通安全子ども自転車全国大会」に臨み、第30位と健闘しました。

#### 大会の成績結果

- 全国優勝 静岡県
- 第2位 佐賀県
- 第3位 沖縄県



三重県代表 松尾小学校のメンバー

7月1日施行

## “三重県飲酒運転0をめざす条例”が制定されました。

受診義務の規定は平成26年1月1日施行



### 条例の概要

**県の責務**

- 飲酒運転防止のための施策を総合的かつ、計画的に策定します。
- 県民、事業者の皆さんが行う飲酒運転根絶に関する取り組みに必要な支援をします。
- 飲酒運転防止のための教育知識の普及のために必要な措置を講じます。
- 飲酒運転の再発防止のための教育を実施します。
- 飲酒運転を行うおそれのある人などからの相談に応じるために必要な措置を講じます。
- 飲酒運転に関する情報を提供します。

**県民の努力**

飲酒運転防止のための取り組みを積極的に行い、また、県や関係機関が実施する取り組みに協力します。

**事業者の努力**

事業者及び事業者団体は、その事業の特性を踏まえつつ、飲酒運転の根絶に関する取り組みを行うよう努めます。

**教育機関の役割**

小学校、中学校、高等学校その他の教育機関は、その性格に応じた飲酒運転の根絶に関する教育を行うよう努めます。

**飲食店営業者・酒類販売業者**

酒類を提供・販売した客が店から移動する際、飲酒運転が行われないよう特に配慮しましょう。

**その他**

毎年12月1日を「飲酒運転0をめざす推進運動の日」とし、飲酒運転根絶についての理解と関心を深めるような行事を行います。

「飲酒運転による事故から県民一人ひとりの命を守りたい。」これはだれもが願う切実な思いです。

しかし、法律による罰則化が進み、飲酒運転に対する社会的非難が高まる中、県内では未だに飲酒運転による事故が発生しております。

そうしたことから、三重県では、三重県議会の提案で、飲酒運転の防止に関する条例では全国7番目となる「三重県飲酒運転0(ゼロ)をめざす条例」を制定し、7月1日から施行しました。

飲酒運転の根絶は罰則化だけでなく、教育を通して道徳やマナーなど社会のルールを守ろうとする意識を高めることやアルコール依存症に関する診断を受けるなど再発防止の取り組みが大切です。

県民の皆様や事業所、教育機関、県などのほか、関係機関・団体等が協力して、飲酒運転根絶に向けた取り組みを推進し、飲酒運転のない安心で安全な三重県を目指しましょう。

## 秋の全国交通安全運動

### 運動の基本

- 子どもと高齢者の交通事故防止

9月21日(土)~30日(月)

### 運動の重点

- 夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止(特に、反射材用品等の着用の推進及び自転車前消灯の点灯の徹底)
- 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- 飲酒運転の根絶



夕暮れ時、ちょっと早めのライトオン運動

10月1日(火)~12月31日(火)